2014 年度 小委員会活動成果報告

（2015　年　1 月　31 日作成）

小委員会名	建築気象データ小委員会	**主 査 名**：松本　真一 **就任年月**：2013 年　4 月
所属本委員会 （所属運営委員会）	環境工学委員会 （建築設備運営委員会）	**委員長名**：田辺　新一 **主 査 名**：郡　　公子
設　置　期　間	2013　年　4 月　　～　　2015　年　3 月	
設　置　目　的 各年度活動計画 （箇条書き）	・紫外線 UV-A，UV-B の推定方法の確立とデータ整理 ・30 年(1981～2010)拡張アメダス気象データの整理 ・1 分値気象データの整備 ・設計用気象データの整理 ・建築気候マップの整理	
委員構成 （委員名（所属））	**委員公募の有無**：無し 主査：松本真一(秋田県立大) 幹事：細淵勇人(秋田県立大) 委員：赤坂 裕(鹿児島大学)、荒井良延(鹿島技研)、井川憲男(前大阪市大)、永村悦子(園田学園大)、永村一雄(大阪市大)、菊池卓郎(竹中技研)、木下泰斗(日本板硝子)、窪田真樹(鹿児島大)、斉藤孝一郎(YKK AP)、二宮秀與(鹿児島大)、武田和大(鹿児島工専)、中山哲士(岡山理科大)、福留伸高(首都大東京)	
設置 WG （WG 名：目的）		
2014 年度予算	100,000　円	**ホームページ公開の有無**：無し **委員会 HP アドレス**：

項　　目	自己評価
委員会開催数	5 回（年度内計画を含む）
刊行物 （シンポジウム資料等は除く）	1．無し
講習会	1．無し
催し物 （シンポジウム･セミナー等） *能力開発支援事業委員会承認企画	1．無し
大会研究集会	1．無し
対外的意見表明・パブリックコメント等	1．
目標の達成度 （当初の活動計画と得られた成果との関係）	1．UV-A，UV-B データの推定法の検討 4 大学で測定している UV-A, UV-B データを集約･整理し、他の気象要素（Eeg、全球オゾンマップデータ等）からの推定法を提案した。 2．2008 年以降の拡張アメダス気象データの整理 2008～2010 年のアメダス気象データの欠測の確認と補充を行った。
委員会活動の問題点・課題	最近では関連の委員間のみで議論している感が強く、活動成果の学会全体への還元のためには、大会などで研究発表の場（オーガナイズドセッション等）や、シンポジウムを開催するなどして議論の場を設け、活性化(充実)を図る必要があると考える。

＊小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
＊表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。

＊　小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
＊　中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学委員会用　自己評価欄

2014 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	(A)　B　C　D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	紫外域日射量 UV-A、UV-B の観測を委員の所属する 4 大学で連携して実施し、精細なデータの蓄積、分析を行った。UV-A、UV-B を日射量から推定する方法に関する議論が深まり、特に、観測、推定の困難な UV-B については、推定に人工衛星によるオゾン量データを活用することが検討された。また、観測を行ってきた複数台の観測機器の較正を再度行ったところ、各機器間の観測値の差に、観測開始以前に行った較正とは異なる傾向が見られるなど、機器の観測精度について留意すべき点が明らかになった。今後も観測を継続し、データのさらなる蓄積を行った上で、高精度の紫外域日射量推定モデルの開発・確立を引き続き行ってゆく予定である。 新しい標準年アメダス気象データについては、風速データの欠測補充に時間を要しており、当初計画よりも約 1 年半遅延しているが、ようやく完成の目途がついた。 また、今後の気象データの活用や観測についても議論を行い、東南アジアなど今後、設計用気象データや農業用気象データの需要が見込まれる地域の観測やデータ整備のあり方などの方向性を検討することができた。

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画･目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価･外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。